



商品はどうやって

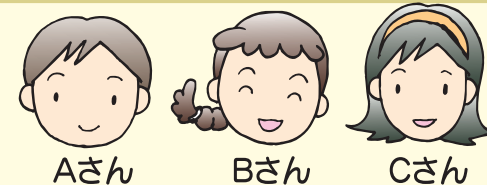
個人別に



届けられるの？

お届けしている袋やお届けの仕方について、様々な質問をいただいています。そこで今回は、組合員さんが注文された商品の詰め合わせを行っている『商品センター』の業務のようすをご紹介しますながら質問にお答えします。

3人の組合員さんが注文しているグループを例に、冷蔵商品（保冷箱に入っている商品）が箱に詰められるまでを見てみましょう。



1

箱に袋をかけます

まず、箱に袋をかけます。ロール状のビニールを熱で圧着しながら、箱に合わせた大きさ・形にカットし、自動で箱にセットしています。



袋
箱

冷凍・冷蔵・食品・雑貨の4ラインで毎週約2万袋セットしています。

Q 小さな商品でも大きな袋に入ってきて、もったいないです。

A 上の写真のように、機械を使って袋を箱に合わせた大きさ・形に切って、セットしています。そのため商品によって、袋の大きさ・形を変更することは難しい状況です。

Q 袋をゴミ袋に使いたいが、横長で使いにくい。縦長にできませんか？

2

袋と箱に名前のシールを貼ります

袋と箱に1枚ずつ組合員さんの名前の入ったシールを貼っていきます。1分間あたり25袋にシールを貼ります。

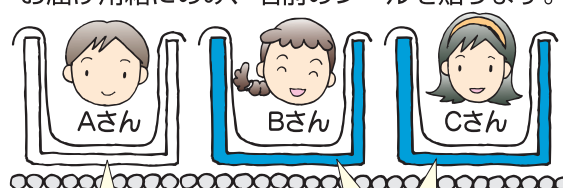


旧商品センターでは職員がシールを1枚1枚手貼りしていました。新商品センターでは全ラインオートレーパーが導入され、機械でシールを貼っています。

Q 名前のシールは、どうして袋の内側に貼っているの？

A シールは、職員が商品を入れる時にどなたのものか見やすくするために貼っています。開いた袋へ商品を詰めていくため、外側へ貼ると作業時に見えなくなります。そのためシールは内側に貼っています。

お届け用箱にのみ、名前のシールを貼ります。



お届け用箱
Bさん、Cさんは集品用箱

全て取っ手なしの袋でお届けしています。

3

商品を入れます（集品）

1人の職員が15～24種類ほどの商品を受け持っています。箱が流れてきたとき、表示機がピカッと光ったら、その箱に商品を入れる合図。手ぎわよく1袋当たり約2秒前後で入れていきます。



※1袋には平均5個の商品が入ります。

もし「間違っ入れてしまったかな？」と思った時は、コンベアの機械を止めて、もう1度袋の中身を確認します。自分が機械を止めたら、全体の流れに影響してしまうので緊張します。

もっと気持ちよく利用していただけるように・・・

■持ち帰り忘れや取り間違いを極力少なくするため、可能な限り集品してお届けしています。



■蓄冷剤が直接野菜に触れないように緩衝材（銀色のシート）を敷いています。



■臭いや液漏れの恐れのある商品はビニール袋に入れ、生理用品などは黒い袋（一部シルバー）に入れてお届けしています。



袋入れが必要な商品かどうかは、商品センター職員が組合員さんの立場で判断しています。

通い箱（保冷箱・青箱）は組合員みんなの財産

箱の返却・シールはがしにご協力ください！

通い箱は、くりかえし使用しています

地域責任者・商品センターで二重にチェックし、ひどい汚れのものは洗浄し、再使用できないものは廃棄しています。

○箱のシールはがしにご協力ください。



裏にもシールがついていないか鏡で確認しています。



商品センターでシールを1枚1枚はがしています。組合員さんがはがしていただくことで経費の節約につながりますので、みなさんのご協力をお願いします。

不足が発生しないように常時買い足しを行っています

<2023年度 新規購入額>

・保冷箱（発泡スチロール）… 約667万円
・青箱…………… 約418万円

○空き箱の保管

（右図は片付け方の参考です。清潔な状態を保てるように保管してください）

- シールをはがした箱は、図のようにまとめるとかさばりません。（蓄冷剤も外に出していただくと助かります）
- 保冷箱が2個以内のときは、それぞれフタをして積み重ねてください。
- フタ、青箱、蓄冷剤は、まとめて箱の上におきます。（風が強い日も大丈夫）
- ドライアイスが入っている青いビニール袋も、一緒にご返却ください。

4

箱に詰め合わせ、冷凍品には冷凍蓄冷剤とドライアイス、冷蔵品には蓄冷剤を入れ込みます

集品が終わりました。Aさんの商品が入っているお届け用箱に、Bさん、Cさんの商品の袋を詰め合わせます。

お留守や職場での受け取りなど冷凍商品の持ち帰りが遅くなる場合は、地域責任者が配達時に冷凍蓄冷剤もしくは粒状のドライアイスが必要に応じて入れ込んでいます。



冷凍品・雑貨品は、地域責任者ごとの専用ケースに詰め合わせしています。

Q

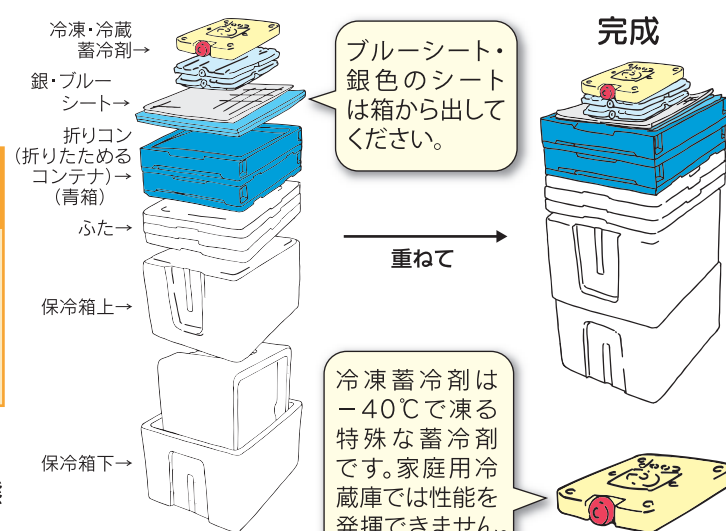
重いものを注文した時は、袋が破れそう。袋に入れる量を加減してください。

A

商品を詰める時は、1箱に入る商品の量を大きさ（重さや数ではなく容積）にもとじて計算しています。これは、より少ないスペースでたくさんの商品を効率よくお届けするためです。1袋の数量を少なくすることを検討しましたが、箱数が増えると詰め合わせにかかる時間の増加・輸送量増加・配達時の作業増加となり、費用の増加につながることが考えられ、変更は難しいと判断しています。

重いものなどを注文して持ち運びに不便を感じられた場合は、通い箱に入れたままお持ち帰りください。箱は次回ご返却ください。

※ご自身で、持ち運び用の袋やかごをご用意いただくなどのご協力をお願いします。
※袋は、燃やしてもダイオキシンを発生させない「ポリプロピレン」製のものを使っています。



保管場所によっては、この通りにしない方がよい場合もあります。状況に合わせてご判断ください。

○保冷箱と青箱はご自宅用に購入もできます。

ご注文の方は、地域責任者へお申し出ください。
・無地保冷箱 250円（税込）
・青箱 1,200円（税込）

5

トラックで県内11支所へ送られます



（株）博運社のトラックで → 県内の各支所へ

Q

急な用事で配達日に商品を取りに行けません。1日早く受け取れますか？

A

商品の受取日の前日に上記の流れで商品を集品・箱詰めしているため、配達日以前に商品をお渡しできません。賞味期間の短い商品については難しいですが、一時預かりの上、配達日の翌日以降にお渡しすることはできます。まずは地域責任者にご相談ください。



商品センター長 嶋廻二郎

いつも共同購入をご利用いただき誠にありがとうございます。昨年5月に清武町に完成し、10月に村角町から移転した商品センターはお陰様で順調に稼働を続けています。一斉移転が無事に終わるか？移転に伴う退職者の補充は進むか？新しい機械にはすぐに慣れるか？12月の年末は乗り切れるか？など、懸念事項をなんとか乗り切って、最後の山場の3月2週

「ありがとう1割引き」の利用倍増も何とか乗り切ることができました。ホッとしているのも束の間、今頃？と言いたくなるような新型コロナ感染が3月末から4月にかけて20数名も次々と広がり集品継続が危ぶまれる寸前までいきました。しかし、窮を見かねて自分の休みを潰して応援出勤して下さる方たちに助けられ何とか乗り切ることができました。協力いただいた皆さんには本当に感謝です。重症者はいませんでした。改めてアルコール消毒やマスク着用を呼び掛けて、安定稼働を続けます。